

サンタックIB防水システムの特長

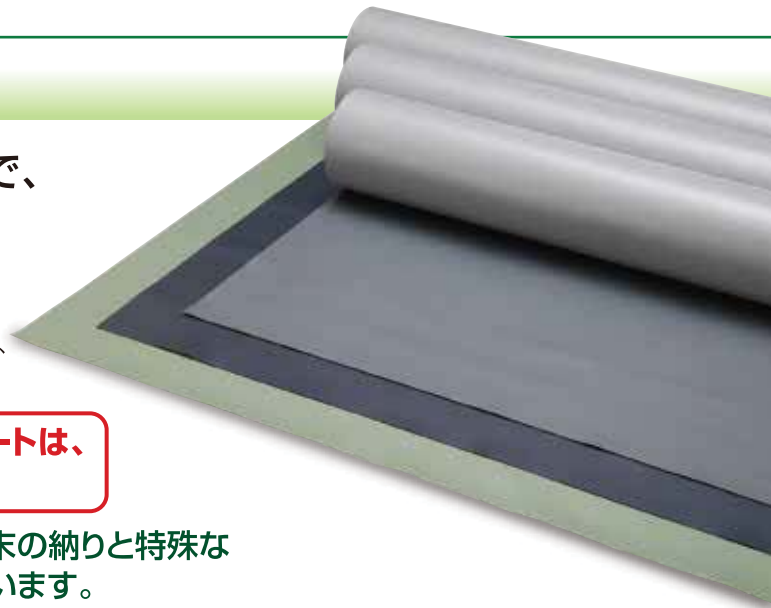
1 高耐久性能

耐久性は防水保証10年の2倍以上で、
20年耐用のシステムです。

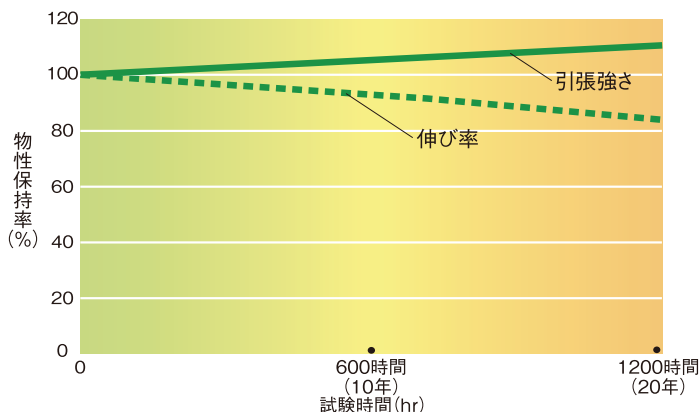
- サンタックIBシートは、**可塑剤の揮散・浸出が少なく**、長期間日光暴露しても変質しません。
- 防水端末部は、可能な限りシーリングを用いない納りとし、**あなたの建物財産価値を守ります。**

ポリメリック可塑剤塩化ビニル樹脂系シートは、耐久性に優れています。

サンタックIB防水システムは、独自の防水端末の納りと特殊な副部材の使用により、大きな耐久性を有しています。



メタルハライド試験



試験条件

- 試験機器 / メタルハライド試験機
- 暴露条件 / 槽内温度:83℃、光量:75mW/cm²
シャワー:2分/120分、暴露時間:600、1200時間
メタルハライド耐候性試験の600時間が屋外暴露の10年に相当します。
- 試験体 / サンタックIB 厚さ1.5mm HWCシート
- 測定条件 / 測定温度 0℃、引張速度 200mm/分



一般に軟質塩化ビニル樹脂系シートの劣化後の引張り強さは上昇し、伸び率は低下します。これらは、シート中に含まれる可塑剤が劣化に伴い浸出・揮散することにより、シートが硬質化するためです。劣化後の性能をより明確に把握するためには、劣化後の低温物性を測定することが有効です。

※建築物の周辺環境条件により、防水シートにほこり・泥・煤煙・花粉などが付着する場合がありますが、防水機能には影響はありません。美観を重視する屋根には、IBトップコートFもしくはIBリアレコート(遮熱塗料)の使用をおすすめします。

2 耐風圧安全性能

風圧力の算定基準(機械的固定工法)

屋根面に対する風圧力の算定
(建築基準法施行令 第82条の5及び国土交通省告示平12建告第1458号に準拠)

$$\text{風圧力 } W = q \times C_f$$

q : 平均速度圧
C_f : ピーク風力係数

(計算方法の詳細は弊社資料「サンタックIB防水システム・耐風圧性能及びプラグ選択要領」参照)

〈注意〉

公共建築工事標準仕様書 25年度版 抜粋
9章9.4.4施工の項

(f) 一般部のルーフィングシートの張付け

(1) 接着工法の場合は、塗布した接着剤のオープンタイムを確認して、ルーフィングシートに引張りを与えないよう、また、しわを生じないように張付け、ローラー等で接着させる。

(2) 機械的固定工法の場合は、次による。

(i) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法は、特記による。

(ii) 絶縁シートを敷き並べたのちに、(i)に基づき、固定金具を用いてルーフィングシートを固定する。ルーフトレン回りは、ルーフトレン周囲から300mm程度の位置に固定金具を設けて、これにルーフィングシートを固定する。ただし、種別S-M2は、原則として、絶縁シートを敷設しない。

注記: 建物の立地条件や周辺の環境等により、耐風圧安全性能を考慮検討する必要がある場合もありますので、詳しくはメーカーにお問い合わせください。

※新風圧力の算定は、主として下記の4項目の要素で行います。

1. 地域区分: 市・町・村及び郡単位で決められた基準風速
2. 地表面粗度区分: 対象建物の周囲の状況により決められた区分
3. ピーク風力係数: 建物及び屋根形状により決められた風力係数
4. 建物の高さ: 建物の高さと同高さの平均

サンタックIB機械的固定工法では、耐風圧荷重の最も少ない一般部もm²あたり約2.8ヶ所固定を標準とする。

サンタックIB機械的固定工法は、耐風圧安全性能が高く安心!!



陸屋根面の部位位置

